

新技術・情報名	ブドウ・巨峰の簡易ハウス栽培技術		
実施場所	三重県農業技術センター・伊賀農業センター	分類	*①

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

- (1) 巨峰は品種特性として、問題になるのが花振るいであり、特に開花期が降雨、低温で経過した場合に多く結実性が不安定である。
- (2) 本県のぶどう栽培農家の多くは巨峰を主体として面積も年々増加の傾向にあり、労力の部分的な集中が問題である。
- (3) 従来の雨よけ栽培にサイドを加えた簡易なハウス（無加温ハウスに比べ資材費が安価で温度、水分管理が省力できる）の導入によって、降雨の遮断、保温等による結実及び果実品質の向上と生育及び熟期促進によって労力の分散をはかる。

2) 技術・情報の適用効果

- (1) 降雨の遮断及び保温により開花結実が安定し、有核果粒の増加によって果粒肥大が向上し、また果粒着色、果粉の形成等果実品質が向上する。
- (2) 露地栽培に比べて10日程程度の熟期促進効果が期待され、果房管理、収穫などの労力が分散される。
- (3) 作型の組み合わせによる労力分散で規模拡大が可能となる。

3) 適用範囲

品種は巨峰群

県下全域

4) 普及指導上の留意点

- (1) 被覆時期（3月下旬）を極端に早めた場合、生育は促進されるが、晩霜による被害を受けることがあるので注意する。
- (2) 被覆除去時期（6月下旬～7月上旬）が遅れるほど、果実品質、特に果実着色に悪影響するので注意する。
- (3) 灌水は谷間の部分から雨水がはいるので、特に必要はないが、降雨の影響を全面的に受けなため、土壌水分が部分的にムラになることが多いので必要な時期に灌水する。

2. 具体的データ

第1表 生育調査（月日）

区制	項目	発芽期	展葉期	開 花		
				始	盛	終
簡易ハウス		4.18	4.25	5.26	5.28	5.31
棚上被覆		22	29	6.3	6.5	6.6
露地		24	29	7	8	9

第2表 有核粒の着生

（調査：6月21日）

区制	項目	一房粒数	有 核 粒			無 核 粒				
			1 核	2 核	3 核	0 粒	0%			
簡易ハウス		24.2	6.8 ^粒	28.0 ^粒	12.6 ^粒	52.1 [%]	4.8 ^粒	19.8 [%]	0 ^粒	0 [%]
棚上被覆		36.5	18.0	49.5	11.1	30.4	3.5	9.6	3.9	10.7
露地		35.9	19.7	55.2	9.3	25.9	2.6	7.1	4.3	11.9

第3表 果房品質調査

区制	調査月日	項目	果房重g	果粒重g	果色	糖度	酸
簡易ハウス	8.17		206.8	10.4	8.4	18.1	0.613
	22		223.4	10.2	9.2	19.4	0.542
	28		313.8	11.4	9.0	18.3	0.495
棚上被覆	8.17		257.0	11.4	7.8	16.7	0.665
	22		279.0	10.4	7.5	17.1	0.588
	28		303.9	11.2	7.5	17.5	0.519
露地	9.4		390.7	11.8	7.9	18.7	0.459
	8.17		184.8	9.3	5.7	15.3	0.732
	22		239.0	9.2	5.7	15.5	0.742
	28		268.9	9.7	7.4	16.9	0.559
	9.4		336.0	9.8	7.8	18.1	0.484
	10		238.8	9.7	8.0	18.5	0.474

3. その他特記事項

ブドウの簡易ハウス栽培試験（57～59）県単